

第95期 報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



トップメッセージ ▶ P1
当期の決算概況と次期の見通し

Topics ▶ P4
POSA 型ギフトカード

CSR ▶ P8
展示会を通じて「フードバンク活動」に商品寄贈

伊藤忠食品株式会社

証券コード: 2692

「成長と繁栄」をミッションに掲げ さらなる収益力の向上を 目指します。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成25年3月期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の事業概況をご報告し、今後の見通しについてご説明させていただきます。

平成25年6月

代表取締役 社長執行役員

濱口 泰三



当期(平成25年3月期)の取り組みと業績についてお聞かせください。

売上高6,000億円台を回復しましたが、商品の低価格化による利益率低下が響き、減益となりました。



当期の食品流通業界は、デフレ基調が長期化する中で消費者の低価格化志向が一段と強まり、競争激化から単価下

落傾向が加速するなど、引き続き厳しい経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社グループは、経営資源(ヒト・モノ・カネ)の最適化を進める「ポートフォリオ経営」を実行し、卸売事業の強化と新たな収益源の開拓に取り組んでまいりました。また業務オペレーションの標準化・効率化を通じて、基礎収益力の向上とコスト・マネジメントを図り、クオリティーの高い機能・価値の提供に努めてまいりました。

新規成長分野では、WEB卸機能の強化に向けて、インターネット販売業者向け機能の拡張や、POSA型ギフトカードのさらなる拡大を図りました。また、外食レストランや有名シェフとのコラボレーションによるブランドを使った商品開発など、新たな収益源の拡大にも注力いたしました。

当期の連結業績は、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど組織小売業との取引拡大に加え、株式会社スハラ食品の連結子会社化が寄与し、売上高は6,145億12百万円（前年同期比較3.7%増）となりました。しかし利益面では、商品の低価格化により売上総利益率が低下し、販売管理費の増加をカバーできず、営業利益43億74百万円（同37.3%

減）、経常利益55億36百万円（同29.9%減）、当期純利益41億39百万円（同3.1%減）と、前期を下回りました。



次期（平成26年3月期）の見通しと重点テーマについてご説明願います。

「売上・利益の拡大」と「高品質低コスト運営の実行」をテーマに、厳しい経営環境を乗り越えていきます。

A

現在、海外情勢には欧州経済危機への懸念など不安定な要素が広がる一方、国内では円安の進行と株価の上昇により景況感に改善傾向が見られ、今後の本格的な景気回復に期

NEXT10 ビジョン 「卸機能日本一のグッドカンパニーになる」

売上・利益の拡大

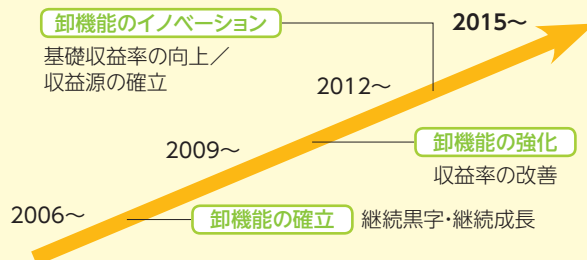
- 1 優良顧客・メーカーとの取引深耕による取引拡大
- 2 新規取引の獲得、新分野への挑戦
- 3 不採算取引の改善による赤字取引の撲滅
- 4 ブランド開発商品・POSA型ギフトカードの拡大
- 5 海外戦略の実行

●96期ミッション●

成長と繁栄

高品質低コスト運営の実行

- 6 LCC型卸の構築（高品質ローコストオペレーション）
- 7 BPR・BPO・IT化の推進
- 8 コンプライアンスの徹底遵守
- 9 プロフェッショナル集団の育成
- 10 CSR経営の推進



	NEXT10目標	96期計画
ROE	10%	5.7%
ROA	5%	2.8%
経常利益率	1.5%	0.9%
自己資本比率	35%	36.5%

待する向きもあります。しかしながら、食品流通業界においては、家計の負担増に対する先行き不安感から、消費者の節約志向は一層高まっていくと見られ、引き続き価格競争による厳しい経営環境が予想されます。

当社グループは、そうした環境の中で勝ち残り、事業をさらに発展させていくために、次期のミッションを「成長と繁栄」と定め、「売上・利益の拡大」と「高品質低コスト運営の実行」をテーマとする取り組みを進めてまいります。

「売上・利益の拡大」については、特に、優良顧客・メーカーとの取引深耕・拡大に力を入れてまいります。当期末現在、当社グループの売上高は、売上高上位100社による割合が全体の89.2%を占めています。同様に、仕入高については、全体の91.9%が仕入先上位100社によるものとなっています。次期以降も優良顧客・メーカーとの取引深耕・拡大と不採算取引の改善を徹底し、基礎収益力の向上を図ってまいります。

「高品質低コスト運営の実行」では、航空業界の用語になぞらえたLCC（ローコストキャリア）型卸の構築を中心に注力していきます。その一環として、本年4月1日付で「業務改革室」を新設しました。業務改革室では、IT化とBPR（Business Process Re-engineering＝業務の流れを最適化すること）の推進を通じて、業務の質的向上とコスト削減を追求します。この他、東海地区における物流センターの統合・再配置

の準備や、海外事業におけるBPO（Business Process Outsourcing＝人事・総務・経理業務等の外部委託）を進めていき、経営の効率化を図ります。

次期の連結業績は、前述の経営環境の厳しさを踏まえ、保守的に予想しておりますが、売上高と営業利益については改善を見込んでいます。



株主の皆様へのメッセージをお願いします。

本年は「挑戦」をキーワードに、「NEXT10」のビジョン達成に向けて、新たな飛躍を果たしてまいります。

A

当社グループは、2015年の創業130周年に向けて「卸機能日本一のグッドカンパニーになる」というビジョンを掲げた中期経営計画「NEXT10」を推進中です。

これまで卸機能の確立から強化へと歩を進めてきた「NEXT10」は、現在その最終ステージである「卸機能のイノベーション」において、基礎収益率の向上と新収益源の確立を目指す段階にきております。

本年の当社グループは「挑戦」をキーワードに、「NEXT10」のビジョン達成に向けて、新たな飛躍を果たしてまいります。9月には東京本社に移転を予定しており、営業と職能部門、経理・ロジスティクス部門のオフィスを集約することで、社内連携を強化し、業務効率を高めていきます。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の未来にご期待いただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 96期連結業績予想

売上高	6,230 億円
営業利益	46 億円
経常利益	55 億円
当期純利益	38 億円

TOPICS ~POSA型ギフトカード~

当社はギフトマーケットの新たな需要創造を図り、食品、外食、サービスなどの分野で消費者の新たなギフトニーズに応えるギフトマーチャンドライジングの取り組みとして、2011年よりPOSA型ギフトカード事業を行っております。



POSA型ギフトカードは消費者がWEB上の商品交換サイトで「好きな時」に「好きな物」を受け取ることができる、カードを使った新しいギフトカードです。これは残高をサーバーで管理するプラスチックカード型の商品券で、贈る方がお支払いの際に、レジを通じてサーバーでカードを有効化することで、カードを贈られた方はWEBサイト「ギフトカードモールexchange.com」で商品交換が行え、好きな時に商品を受け取れるサービスです。

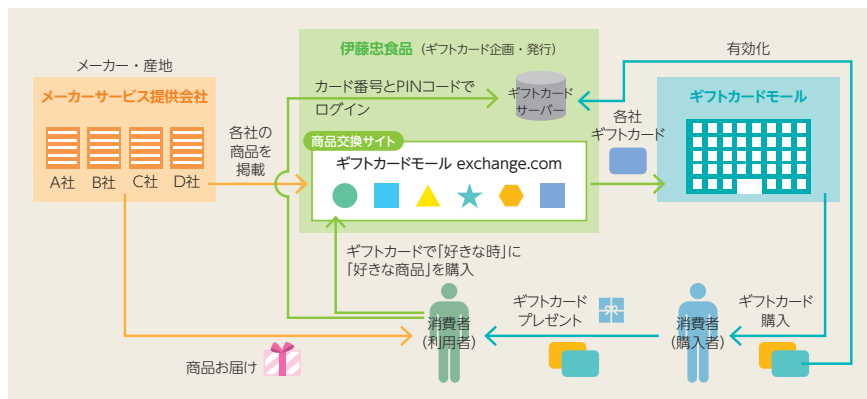
本年3月には三井住友カードが発行する「三井住友プレミアムカード」の交換をWEBサイト「ギフトカードモールexchange.com」で開始し、他社発行カードを受け取った方も「好きな時」に「好きな物」を受け取ることができるようになりました。

現在19券種を品揃えし、本年4月にハーゲンダッツカードの発売を開始

いたしました。

また同時に取扱店舗の拡大を推進し、消費者の利便性を高めました。

今後も当社はPOSA型ギフトカード発行の企画、カード製造・発行、残高管理、WEB商品交換サイトの運営、商品発送などのビジネスパッケージを提供することで、日本国内で急速に広がるギフトカード市場への参入をサポートし、消費者に価値あるプラットフォームを提供してまいります。



連結決算の概要

売上高

614,512 百万円

(前年同期比較3.7%増)

当連結会計年度の売上高は、コンビニエンスストア等組織小売業との取引拡大や(株)スハラ食品の連結子会社化等により、前年同期比較217億15百万円(3.7%)増加の6,145億12百万円となりました。

営業利益

4,374 百万円

(前年同期比較37.3%減)

営業利益は、商品の低価格化がもたらす競争激化から売上総利益が伸び悩んだことに加え、災害時に備えたホストコンピュータのバックアップ費用などにより、前年同期比較37.3%(25億97百万円)減少の43億74百万円となりました。

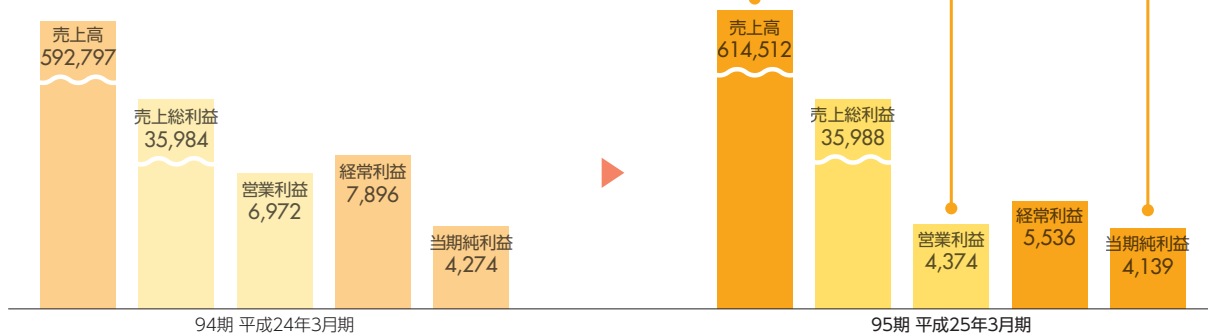
当期純利益

4,139 百万円

(前年同期比較3.1%減)

当期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどにより、前年同期比較3.1%(1億34百万円)減少の41億39百万円となりました。

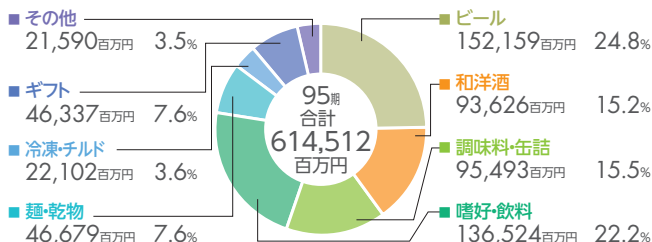
(単位:百万円)



(注) 当社は当連結会計年度より、会計方針の変更及び表示方法の変更を行ったため、94期につきましては当該会計上の変更を反映した遡及適用及び組替え後の数値を記載しております。

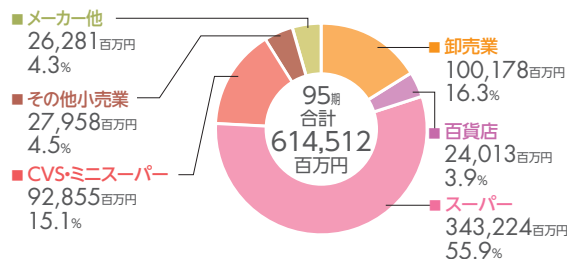
◆ 売上高構成比

〈商品分類別売上高構成比〉

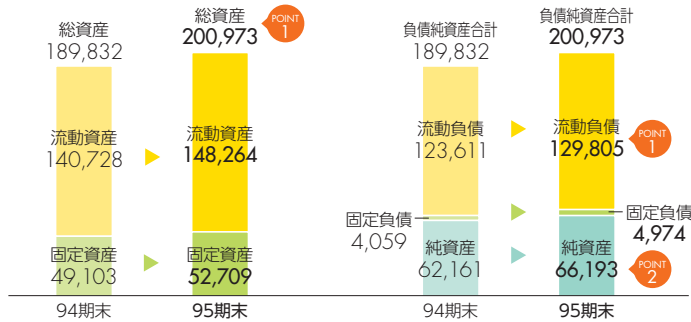


(注) 「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

〈業態別売上高構成比〉

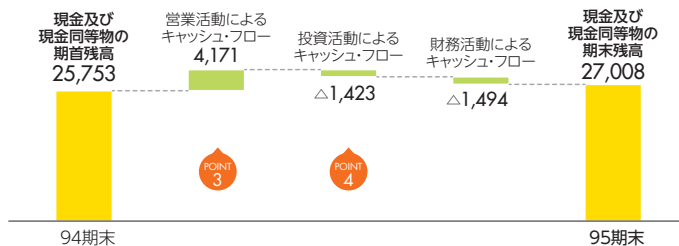


◆ 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



POINT 1 当連結会計年度における資産は2,009億73百万円となり、前連結会計年度末と比べ111億41百万円の増加となりました。また、負債は1,347億80百万円となり、前連結会計年度末と比べ71億9百万円の増加となりました。これらの主な要因は売上増加及び㈱スハラ食品の連結子会社化により売上債権、仕入債務がそれぞれ増加したことによるものです。

◆ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

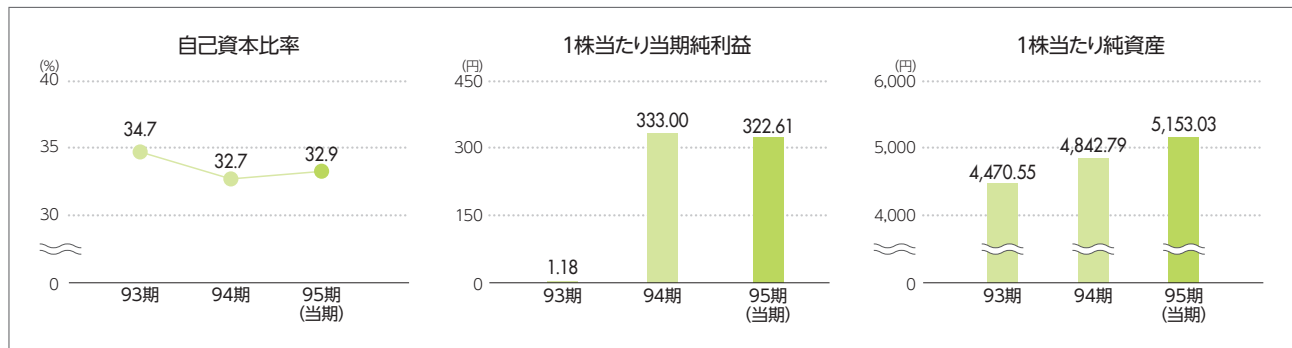


POINT 2 純資産は、661億93百万円となり、前連結会計年度末と比べ40億31百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が32億66百万円増加したことによるものであります。

POINT 3 営業活動の結果増加した資金は41億71百万円（前年同期比較77億96百万円の支出増加）となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益67億29百万円、法人税等の支払額34億69百万円等であります。

POINT 4 投資活動の結果使用した資金は、14億23百万円（前年同期比較67億62百万円の支出減少）となりました。主な要因は関係会社への資金の預け入れ、㈱スハラ食品の連結子会社化等によるものであります。

▶▶▶ 参考指標



◆ 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当期 平成25年3月31日	前期 平成24年3月31日
資産の部		
流動資産	145,570	140,619
固定資産	50,959	48,753
資産合計	196,529	189,372
負債の部		
流動負債	127,711	124,065
固定負債	3,778	3,848
負債合計	131,489	127,913
純資産の部		
株主資本	61,083	58,183
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,162	7,162
利益剰余金	49,581	46,681
自己株式	△ 583	△ 583
評価・換算差額等	3,955	3,275
純資産合計	65,039	61,458
負債純資産合計	196,529	189,372

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

(注)当社は当期より、会計方針の変更及び表示方法の変更を行ったため、前期につきましては当該会計上の変更を反映した遡及適用及び組替え後の数値を記載しております。

◆ 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期 平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月 1日から 平成24年3月31日まで
売上高	604,184	592,526
売上原価	569,711	556,990
売上総利益	34,472	35,536
販売費及び一般管理費	30,194	28,754
営業利益	4,277	6,782
営業外収益	1,164	1,179
営業外費用	422	445
経常利益	5,020	7,515
特別利益	1,700	408
特別損失	508	1,188
税引前当期純利益	6,212	6,735
法人税、住民税及び事業税	2,544	2,882
法人税等調整額	△ 105	△ 121
当期純利益	3,773	3,974

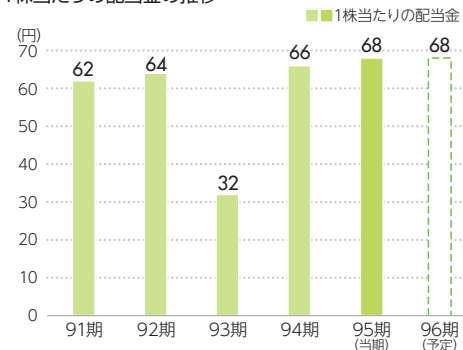
※百万円未満は切り捨てて表示しております。

利益配分に関する基本方針

当社グループは株主の皆様への利益還元を最重要政策と認識し、収益力の向上と財務体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益配分拡大に努力することを基本方針としております。

当期の年間配当金につきましては、上記の方針ならびに当連結会計年度の業績を鑑み、1株当たり68円とし、期末配当金は中間配当金34円を差引き1株当たり34円とさせていただきます。内部留保金の使途につきましては、財務体質の強化ならびに営業力強化のため新たな卸売業のビジネスモデル確立への投資とシステム開発等の資金需要に備える所存であります。また、次期の配当金につきましては1株当たり68円を予定しております。

1株当たりの配当金の推移



展示会を通じて「フードバンク活動」に商品寄贈

当社グループは、健康で豊かな食生活創りを通じて消費者と社会に貢献する企業として、さまざまな形でCSR(企業の社会的責任)活動を展開しています。

その一環として実施しているのが、「フードバンク活動」です。「フードバンク活動」は、安全に食べられるにも関わらず市場価値がなくなった食品(例えば、包装の傷みや季節外れ、出荷期限超過等の理由がある商品)を食品関連企業から提供を受け、生活が困窮している人々の支援団体・福祉施設に無償で配布する活動のことです。

当社グループでは、本年1月17日・18日に開催した東海営業本部展示会において、事前に出展メーカー様にご協力を呼びかけてサンプル商品をご提供いただき、NPO法人セカンドハーベスト名古屋に寄贈しました。

今回、約70社の出展メーカー様から、合計で約3,300点の商品をご提供いただきました。これらの商品は適切に仕分けされ、外国人支援団体や児童養護施設等に寄付されました。

当社グループは、今後も「フードバンク活動」への継続的な支援を行ってまいります。



平成25年9月に東京本社を移転いたします。

複数の分散しているオフィスを集約し、業務効率の向上と改善を図るため、現在の日本橋室町(中央区)から赤坂(港区)に東京本社を移転いたします。

新東京本社ビルは30階建てのオフィスビルで、当社は15階から17階の3フロアに入居いたします。

- 移 転 先：東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー15階～17階
- 移 転 時期：平成25年9月下旬



会社概要

(平成25年3月31日現在)

Corporate Profile

商 号 伊藤忠食品株式会社
創 業 年 月 日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
設 立 年 月 日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
資 本 金 4,923,464,500円
従 業 員 数 連結1,068名 個別768名
事 業 内 容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、
運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関
するマーチャндаイジング等を主とした事業活動を
展開。
本 店 所 在 地 大阪市中央区城見2-2-22
大阪本社
〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
電話(06)6947-9811
東京本社
〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9
電話(03)3270-7620

役 員(平成25年6月19日取締役会終了時より、下記の新体制となりました。)

代表取締役・会長執行役員	濱口 泰三	常務執行役員	松本 耕一
代表取締役・社長執行役員	星 秀一	執行役員	三浦 浩一
取締役・常務執行役員	栢沼 康夫	執行役員	青山 裕一
取締役・常務執行役員	大釜 賢一	執行役員	松本 正幹
取締役・常務執行役員	阿部 淳一	執行役員	鈴木 昌
取締役(非常勤)	亀岡 正彦	執行役員	酒井 健雄
常勤監査役	小池 俊一	執行役員	河原 光男
監査役(非常勤)	増岡 研介		
監査役(非常勤)	平野 育哉		
監査役(非常勤)	川村 篤生		

子会社・関連会社 ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

(平成25年6月20日現在)

卸売業／■(株)中部メイカン ■(株)スハラ食品
小売業／■(株)宝来商店

物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)
サービス業／■ISCビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特 別 口 座 の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口 座 管 理 機 関 三井住友信託銀行株式会社

STOCKHOLDER MEMO

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各
支店で行っております。

公 告 方 法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電
子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
* 公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単 元 株 式 数 100株

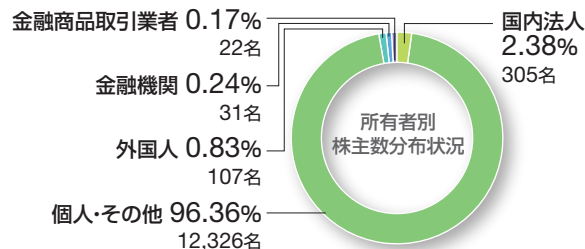
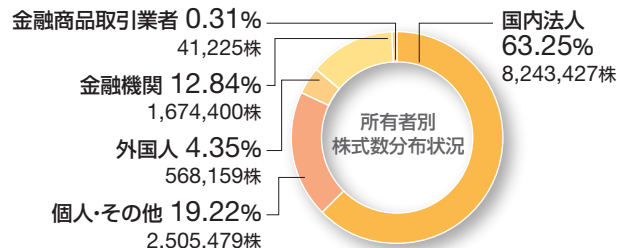
証 券 コー ド 2692

株式の状況

(平成25年3月31日現在)

Stock Information

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 13,032,690株
株主数 12,791名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.31
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	236,835	1.81
伊藤忠食品 従業員持株会	176,100	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	115,300	0.88
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	96,800	0.74
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,624株あります。

- 2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- 3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

住所変更、
単元未満株式の
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため
特別口座を開設されました株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」
について

配当金領収証にてお受取りの
株主様

「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

INFORMATION



新・宮崎グルメ 登場。



ガチ旨宮崎グルメバトル審査委員長、シェフ・川越達也氏開発の
ゆずこしょう風味の調味料、「ゆずこ」を使った新ご当地メニュー登場！



ガチ旨宮崎グルメバトル審査委員長
シェフ・川越達也氏

鶏のゆずこしょう焼そば

好評発売中 ¥945(税込)



商品のお問い合わせ先：ブランド事業部 電話(03) 3270-7640

ISC 伊藤忠食品株式会社

お問い合わせ

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話 (03)3270-7620
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

**UD
FONT**



本報告書は、環境保全のため、FSC® 認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。